



6月16日に開催されました「平成21年第2回奥尻町議会定例会」で、新村町長の平成21年度における「奥尻町長施政方針」が示されました。その内容について、ご紹介いたしますので、町政の推進につきまして、町民みなさんのご理解とご協力をお願いいたします。

平成21年度 奥尻町長施政方針

奥尻町長 新村 卓 実

平成21年第2回奥尻町議会定例会に当たり町政運営に臨む施政方針を申し上げます。

はつめい...

国内経済は、昨年アメリカから端を発しました世界的金融危機の大きな影響を受け深刻な状況に直面しており、今なお暗い影をおとしております。

特に、非正規労働者の雇い止めや、今年卒業した学生の内定取り消しなどの問題が全国的に取り沙汰されました。

また、自動車産業に象徴されるように製造業の急激な業績不振や消費の落ち込みなど深刻な状態になっております。

椴山管内においても、ここ2〜3か月の間に企業が資金繰りの悪化により倒産し、そのあおりで関連会社も連鎖するなど厳しい状況にあります。

本町においても景気や雇用、特に観光などに少なからず町民の暮らしに影響を及ぼしていること認識しております。

そのような中、家計への緊

急支援と併せて地域の経済対策に資することを目的とした定額給付金につきましては、町民におおむね給付したところであり、全国的に、この対策が功を奏し少しでも景気の回復につながればと願いつつ、今後とも世の中の動きに敏感に対応して町民生活の安定のために努力を図っていくつもりであります。

更に、国の地域活性化のための臨時交付金による各種事業の未発注分につきましても、今後早期に発注する予定としております。

本町の財政状況であります。起債の償還の減少はあるものの地方交付税の増額は見込めず、更に経済状況の悪化などにより、個人町民税や法人税などの落ち込みは避けられず町税収入の減額を強いられる見込みであり、依然として厳しい財政状況にあります。

町の財政状況

また、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が本年4月から施行されるなど、

今まで以上に財政の健全化が求められており、そのような中であり職員の給与について職員組合と交渉を重ね減額をお願いし、自らも報酬の一部を削減したところであります。

しかし、一方でこういうところで、職員の意識や行動を変える絶好の機会であると思っております。本定例会に、職員との意思の疎通を図り、仕事の明確化と風通しのよい職場環境づくりを図るため行政組織の改正を提案しており、新たな機構で町政の更なる発展を図っていく所存であります。

今後の経済の見通しは、全く予測はつきませんが消極的な姿勢でなく、むしろ国による「経済危機対策」や「地域活性化対策」などの追加的政策制度を活用し政策決定後においては、機を逸することなく町の財政負担等を考慮しながら交付金による各種事業を積極的に実施できるように申請を行って参りたいと考えております。

基盤整備推進

町の基盤整備の推進について申し上げます。

本町の幹線道路であります道々奥尻島線の整備についてであります。

町民から特に整備要請の多い長浜区間の改良工事や、現在夜間通行止めとしております湯浜地区につきましては、今年度すでに工事発注されております。

また、赤石地区の改良区間や震災後の危険箇所につきましても引き続き災害防除として北海道に要請し、本年度も引き続き整備されることとなっております。

一方、奥尻港湾整備事業において、円滑な漁業活動を確保するため、本年度は物揚場の整備と施設用地の埋立工事を行うものであります。

安全・安心な町

町民の安心安全について、申し上げます。

救急業務につきましては町民の命を守る大切な活動であ

り、特に救急救命士の充実は、町民の安心に欠くことのできないものであります。昨年度一名の消防署員が資格を取得しており、本年度においても引き続き救急救命士の育成に努めてまいります。

また、公共施設においてAEDの未設置箇所につきましても、関係機関の協力を得ながら整備して参ります。

次に、災害に強いまちづくりについてであります。去る5月10日に奥尻中学校グラウンドにおいて本年度の「奥尻町消防総合訓練大会」が実施されたところであり、

災害に強い町

秋の防災訓練は地震や火災などの災害に対処するため、行政の防災体制と住民が一体となつて地域防災力を高めるための訓練と奥尻港において人命救助訓練を実施するための計画を検討中であります。

町民の協力と交通ルール遵守によりまして平成13年7月から交通事故死ゼロが続き9月16日で「3000日」達成を迎えます。

▼「春の全国交通安全運動」での路上啓発運動（今年4月）



交通安全

まだ、確定はしておりませんが、「3000日」達成された場合の記念行事を9月下旬に行う予定として現在関係機関と協議中であります。

基幹産業の振興

産業の振興について申し上げます。

最初に、わが町の基幹産業である水産業についてであります。

本町の春漁をつげる「ます漁」は残念ながら不漁に終わりましたが、本町で漁獲量が一番多い「ホツケ漁」がトドなどの被害も無く比較的好調に水揚げされております。今後は6月に解禁されました主要魚種の「イカ漁」に期待を寄せております。

一方、漁業者を取り巻く環境は依然として厳しく、国内経済の不況により個人消費の低迷、更に、地球温暖化による海水温の上昇や異常気象による高波、護岸からの越波等、自然環境も年々悪化している現状であります。

このような中、「ふのり礁」の試験事業や道における「ナマコ資源増大対策事業」によるナマコ種苗の継続放流、更には、新規事業としての「藻場等の維持・回復」を図るこ

とを目的に「環境・生態系保全活動支援交付金事業」を実施し、漁業資源の維持拡大を図るものであります。

基盤整備の促進

基盤整備事業として青苗漁港が地域マリンビジョン推進地域に指定されたことから「衛生管理型漁港・増養殖支援型漁港」、「災害拠点漁港」としてビジョン実現に向けて一層の努力を行うものであります。

勘太浜漁港につきましては、東防波堤の突堤整備、道の単独補助事業による野名前船揚場整備を計画しております。先ほど触れました奥尻港湾



▲ナマコの種苗を放流（ナマコ資源増大対策事業）